

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様から「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら筑後大川第一教室

保護者等数（児童数） 13 回収数 11 割合 84 %

	チェック項目	はい			いいえ			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11							
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1						
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1			2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10				1			
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	11					・毎回計画も作っていただき、ありがとうございます。	・今後も計画内容や支援内容が最適なものになるようにしっかりとお子様の様子観察に努めていきます。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				2	よくわかりませんが、計画や設定など大切かもしれませんが、あまり気にしていません。	・今後も計画内容や支援内容が最適なものになるようにしっかりとお子様の様子観察に努めていきます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10				1	・運動プログラムを組み込んでいただき、予定に入れてなかった日でも役立つような内容がある場合はお声掛けいただけるのが良かった。	・今後も総合的に成長を促せるような計画内容を考案し、あらゆる視点にて支援を行う事を目標としております。保護者様やお子様にとって必要な事であったり、事業所としてお子様に必要だと思われる事は提案させていただきます。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10	1				・季節ごとのイベントもあり、工夫されていると思う。 ・予定表がいろいろなプログラムで楽しそうに感じます。	・今後もお子様を楽しみながら成長できるプログラムになるようないろいろな視点をもって決定していきます。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	1						
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11							

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10			1			
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	7				4		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	11					・ノート記入お世話かけてます。 ・送迎時に今日の様子や自宅での様子など話しています。 ・園や市の担当者との利用者会議を設けていただき、子どもの生活状況の理解が深まった。 ・常にお子様の様子観察に努め、内容を記録し、保護者様とわかりやすいように伝えていこうと思っております。保護者様や関係機関と密に連携を図り、支援させていただきます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1		1	1	・面談もありがたいです。 ・心配事があったらいつでも相談していただいています。 ・連絡ノートに何か書いてくれると嬉しいです。 ・たまに書いた時でも見返して、反応してくれることが少ない。元気ですはスルーで良い何か書いていたらコメントは嬉しいです。 ・いつもいろいろお話し聞けて助かっています。 ・保護者様と対面にお話しする機会を定期的に設けていこうと考えております。 ・お子様や保護者様が負担していない事に対して常にお答えをしております。 ・職員に周知してまいります。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2	1	2	2	・土日が基本仕事の為、イベント等の中参加できず申し訳ないです。 ・下の子がまだ小さいので、中々参加できないのが現状です。 ・イベントや面談（個別・小集団）を来年度も開催する予定です。早めにお知らせいたします。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9				2	緊急連絡のラインがあるので、大いに助かっています。 ・連絡ツールがたくさんありますので、来年度は一本化していく予定です。ご協力よろしくお願いいたします。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11						
	19	個人情報取り扱いに十分注意されているか	10				1	・事業所にあまり行かないのでわかりませんが注意されていると思います。 ・今後も個人情報の取り扱いにつきましては十分注意してまいります。	
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	1		1		
		21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1		1		
	満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1				・基本的には楽しんでいると思いますが、お迎えの時にたまに泣くことがあります。 ・好きな先生や好きなお友達と遊んで楽しそうに話してくれるようになりました。土曜（1日利用日）はムンムンです。 ・毎日本当にありがとうございます。何かいい点があればいつも指導お願い申し上げます。 ・自宅ではできない経験もできるし、少しずつ成長しているように感じるので満足しています。 ・本当に良くしていただいて助かっています。写真なども大変だと思いますが、いつもありがとうございます。
		23	事業所の支援に満足しているか	10			1		・嬉しいお言葉ありがとうございます。 ・今後もお子様にとって最適な支援を提供できるように、お子様が楽しく通所できる教室になるよう職員一丸となって努力いたします。今後ともよろしくお願いたします。

その他

上記ご意見に対する対応

いつもお返事が遅くなっています。お返りには遅くお返りさせていただきます。ご了承ください。
・また自分の口で出来事話すことができない為、家族以外との様子を知る機会が中々ありません。家では甘えられる状況なので、わがままを出しているのかおぼんの施設でもそうなのか、日常生活の食事は自分で食べられているのか、中々家でできていませんが、トイレのトレーニングや着替え、靴はき等切り替えの様子。成功したことがあれば、短い時間でも動画でも様子を見れると家で多少変えられるのかなあと思っています。一緒に過ごす時間が少なく、トイレやお着替えもまた今度と先延ばしにしています。その辺りも中心に指導していただくと有難いです。
・母の急な入院で子どもの生活環境が変わってしまいストレスがかってしまったと思いますが、温かく対応していただき感謝しています。利用時間や送迎場所の変更など柔軟に対応していただき助かりました。今後ともより成長の為継続して利用していきたいです。

・今後もお子様や保護者様の状況により柔軟に対応していきます。いろいろなご意見等お気軽に話してください。
・お子様の教室の様子や動画などで紹介できるときは紹介させていただきます。また、ご自宅でできるような事も紹介させていただきます。
・その時によっていろいろなご事情があると思います。今後お気軽に相談ください。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた長め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら筑後大川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	子どもたちがいろいろな活動ができるように物を少なくし、広いスペースを確保している。	危険と思われるところや壊れているところなどは順次修繕して危険がない環境をつくる。
	2	職員の配置数は適切である	3	5		今後は増員し、手厚い支援ができるようにする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	広い活動スペースを確保するために物を少なくしている。 視覚的に認知しやすいように掲示している。	危険個所がないように環境整備を毎月行うようにする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日清掃を行い、清潔な空間を維持できるように心がけている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	3	目標を設定し、振り返りを毎日行うようにしている。	職員に周知ができていない面があったため、記録を残し、周知徹底できるように努めていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3	日頃より保護者の意向を踏まえて常時対応するように心がけている。	業務改善内容の周知徹底がなされていないところがあったため、記録を確認しやすい方法を検討していきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	5	事業所内に掲示し、保護者へ紙面にて報告している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		外部評価は行ってないが、今後は検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	6	毎月会議や勉強会を開催し、職員の資質の向上に努めている。	研修内容が固定化しないようにし、個々の利用者に向けた最適な支援ができるような研修の機会を設けていきたい。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	2	常に利用者の状況や状態を把握し、職員間で情報の共有を行っている。その内容やアセスメントをもとに計画内容を立案している。	個別の面談を定期的に行い、その時に合った計画内容を立案し、支援していくようにしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		8		アセスメントツールはその時の子どもの状態や保護者の状況によって変化ができるようにしていき、最適な支援ができるようにしていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	4	総合的に支援を行う体制を整えており、様々な視点より支援できるように設定している。	アセスメント、計画立案からモニタリングまでの期間の記録を室内に掲示し、支援状況や子どもの状態把握に努めながら進捗状況を確認できるようにし、内容を周知できるようにしていきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	4		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	5		プログラム内容が固定化しないように全職員で立案できるように会議を重ねていきたい。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	小集団のプログラムと個別支援のプログラムを考慮して総合的に支援できる環境を作っている。	プログラムを作成するにあたり、個々の利用者に向けた内容になるように職員間で情報の共有を行って考えていきたい。	

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	2	個別、小集団、中集団、大集団と個々の状況やレベルに合わせて支援内容を考案し、支援を行うようにしている。	個々の状況や支援内容を職員間で共有し、細かい支援ができるようにチームでアプローチしていきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	朝礼を行い、情報の共有をし、当日の支援内容や役割分担を確認するようにしている。	職員間で情報の共有が徹底できていない面があるので、視覚的に共通認識しやすい環境を作り支援できるようにしていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5	終礼を行い、当日の振り返りを行い情報を共有するようにしている。	情報の共有方法が決まっておらず、周知できていないことがあった。毎日記録しているボードに振り返りの内容を記録し、職員間で情報を共有できるようにする。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2		記録はできているが、支援の検証改善が月2回の会議で行えていないので、細目に開催し、支援の検証改善につなげていきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	4		職員間で振り返りを行い、保護者との面談を経て計画内容の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	4	市内の機関や関係者と密に連絡を取り合いながら担当者会議を開催し、情報の共有に努めている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	6		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	6		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	相談支援事業所や保護者と連携を図りながら、情報の共有に努め、支援内容に変化をつけながら対応している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	相談支援事業所や保護者と連携を図りながら、情報の共有に努め、支援内容に変化をつけながら対応している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4		市の会議にて児童発達支援センターと情報を共有し、支援方法や内容の共有を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6		イベントを開催し、利用児童の兄弟児も含めた活動の機会を年に1回以上開催するようにしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5		毎月開催されている協議会へ参加し、市の児童福祉の推進活動等に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2	送迎時や面談を中心に日頃より連絡を取り合い、子どもの状況や課題を共有するようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	6	面談を中心に家庭での対応方法を検討し、保護者や子供の困り感を軽減するようにしている。	定期的に個別面談を行ったり、グループでの面談を行い、保護者や子どもの困り感の軽減に努めていきたい。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	契約時に説明を行っている。また、質問等があった場合はその都度繰り返し説明を行うようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	2	アセスメントから計画立案、モニタリングと行っていく中で必ず保護者の同意を得るようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	送迎時や連絡帳にて日頃より連絡を密にとるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5	イベントを開催する際に保護者が集まる時間を設け、保護者同士の顔合わせや連携が図れるようにしている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	日頃より保護者の意向を踏まえて常時対応するように心がけている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	3	SNS（インスタグラム/ブログ）を活用し、発信するようにしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	3		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	イベントを開催する時は教室周辺の地域住民に声掛けするようにしている。		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2		SNSを活用し、周知徹底できるようにしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	年に2回以上は開催するようにしている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	契約時に聞き取りを行い、必要な場合は医師の指示などを提出していただくようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	保護者には面談時に必ず確認をするようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3		月2回開催の会議にてその都度職員間で共有し、繰り返さないように心がけている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	6		委員会や研修を行っているものの職員の意識改革まではできていない。日頃より職員同士が声掛けを行い、虐待と思われる行為はないようにしていきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	5	身体拘束については対象のお子様には契約時に話し合いを行い、必要な場合は紙面にて同意を得る事としている。現状は対象者はいない。	身体拘束を行わないで良いように子どもの状況や状態把握、支援内容や支援方法を決めていきたい。